

# かさおか

発行所

天理教笠岡大教会

かさおか編集掛  
笠岡市用之江377  
郵便番号714-0066  
(0865)  
電話 66-1311  
FAX 66-1314



島根分教会神殿

(10月1日 撮影)

---

## さあ！おたすけ 祈る 動く つなぐ

---

おたすけ・お願いカード 集計：84,676枚

平成27年8月21日～9月20日

累計：1,284,233枚

一万人のおぢばがえり

集計：549人

累計：5,757人

平成27年 1月1日～9月20日

立教178年  
10月号

# 教会長・布教所長 躍進の集い 開催

9月月度祭後

風薫る9月21日、笠岡大教会九月月度祭終了後、大教会神殿で教会長・布教所長躍進の集いが行われた。講師に井筒梅夫先生(本部長・本部布教部長・芦津大教会長)をお迎えし、神殿にあふれる参拝者に向かい真情溢れる講話をいただいた。

10月25日の笠岡大教会別席ひのきしん団参は、眞明組に繋がる芦津・笠岡・



井筒先生のお話しに傾聴する参拝者ら

西宮・池田・双名島・玉島の各大教会が同日におちばに帰参し、それぞれ、別席・ひのきしん講演会等が行われる。先生は芦津大教会と笠岡大教会の繋がりにから話しを起こされ、おたすけの例話をふんだんに盛り込んで、別席ひのきしん団参、明年の教祖130年祭に向かう一条の心の持ち方、通り方を真摯にお話しくだされた。

## 全分会布教推進週間

### 部内各地で勇んだ姿

青年会

青年会笠岡分会(上原明勇委員長)は、8月30日から9月6日までを全分会布教推進週間として布教活動を行った。

今回は、一人でも多く、一分会でも多くの活動を目指し、各ブロックで様々な取り組みがみられた。上下ブロックでは、会員を中心にキャラバン隊を結成し、部内教会を回りながら神名流し・路傍講演等を行った。高屋ブロックでは、毎年恒例となった「きのこ荘」でひのきしんを行い、青年会員のみなならず老若男女が参加した。また、



青年会員の路傍講演

笠岡分会委員が中心となったキャラバン隊では、大教会・福山・久松・海松ヶ岡・府中市・東城・葦陽・湯田原・神駅の各教会を拠点に、昼夜問わず活動を行った。その他、各ブロック・分会毎に積極的な布教活動が展開され、各地で勇んだ姿が見られた。

## 「テッチャン

### シアター」開催

9月月度祭後

少年会

少年会笠岡団(武内正美団長)では9



紙芝居で神様のお話し

月21日、大教会祭典後「テッチャンシアター」を開催させて頂きました。今回の担当は少年会委員の藤井保人先生です。

——紙芝居「野菜きらいのタツくん」より——

タツくんは野菜が苦手です。玉ネギきらい、ピーマンきらい、人参きらい、自分の好きな物だけしか食べません。お父さんがタツくんに話しかけます。「この野菜も神様からのご守護の中で大きくなっているんだ。太陽の光や風・雨(水)そして土もみんな神様のたくさんのお働きで、私達はそんな野

菜やすべての食べ物を頂いて元気に大きく成長しているんだよ。」「ふくん」と聞いていたタツくんは、やがて一つ食べてみます。食べてみれば案外美味しかったりして…

食はず嫌い、また実際に苦手な子もいると思います。こういう日常生活の何気ない場面、やり取りの中でも、やはり神様のお話しを分かりやすく例えを使って聞かせると、案外、子供の心にスーッと治まっていくのかもしれない。その時その時を大切にしていきたいですネ。

6月から7月、8月、9月と4回連続で「テッチャンシアター」を開催させて頂きました。今回は祭典後に「躍進の集い」もあつて少年会員59人が神殿に集まってくれました。

次回は11月の開催予定です。また大教会でお待ちしていますネ。

(少年会委員 丸山 哲子)

### 委員長後継者講習会

開催

婦人会

婦人会笠岡支部(上原きよ枝支部長)



秋空に響く神名流し

では、9月22、23の両日、大教会で委員長後継者講習会を開催、11人が参加した。

22日は、上原同支部長の「教祖のおはなし」を聞かせて頂いた後、2班に分かれてねりあい、夕づとめ後、会食をして親睦を深めた。

23日は、感話、大教会長様のおはなしを聞かせて頂き、その後、すばらしい秋空のもと、勇んで神名流しをさせて頂いた。

大教会長様はおはなしの中で、「教祖年祭のこの旬に、できる苦勞はできる限りさせて頂く、また、この苦勞は



仕上げの障子張り

### 障子張り替え

ひのきしん実施

10月3日、4日

管理部

自分の為ではなくひとの為にさせて頂く苦勞で、それが末代かけての道筋になっていく」と力強く話された。参加者は、改めて年祭の旬について考え直し、いつも教祖を身近に感じ、さらなる成人の歩みをすすめるべく、思いを新たにしたいの閉講となった。  
(笠岡支部常任委員 岡崎和美)



紙をはがす婦人会員

管理部(武内清明部長)では、10月3、4の両日、大教会障子張り替えひのきしんを行い約90人が参加した。3日には男性が神殿、信者室等の障子を取り外し、水洗いした後婦人会はへら等で棧に着いた紙を丁寧に落とし、乾いた物から貼り付けを行った。4日も引き続き貼り付けを行い、少年会員もひのきしんに加わり、真っ白に美しく仕上がった。

**学生生徒修養会**  
**高校の部 開催**  
 8・9・15 於・おぢば  
 学生担当委員会

去る8月9日～15日まで、学生生徒修養会高校の部がおぢばで開催されました。笠岡から参加してくれた学生生徒は15人！どんな思いで参加したり、何を感じ、何を得たのでしょうか。アンケートを取ってみました。

以下、回答者は男性3人、女性7人。行頭は回答者のイニシャルです。  
 なお、アンケートを送るのが遅れたため、インターネットを通して実施した方もありました。

▼学生生徒修養会参加者アンケート  
**Q1 学修に来て良かった？**  
 ・良かった・・・・・・・・・・10人  
 ・悪かった・・・・・・・・・・なし  
 ・どちらとも言えない・・・・・・・・なし

**Q2 学修に期待したものは？**  
 ・友達との出会い・・・・・・・・9人  
 ・おぢばでの伏せこみ・・・・・・・・なし  
 ・教理などの求道心・・・・・・・・1人  
 ・その他・・・・・・・・なし

**Q3 学修で得たものは？**

- H・・前向きに考えられる力。
- K・・班員とのコミュニケーション。
- M・・コミュニケーション能力。
- S・・お道について学び、改めてお道の素晴らしさを感じたことです。
- U・・一生ものの思い出。
- A・・仲間との助け合い。
- T・・仲間の大切さ。
- F・・仲間が良いと思う。
- N・・友達。
- O・・助け合うことの大切さ。誰かのために一生懸命お願いする気持ち。いろんな人のいろんな考え方。
- I・・自分のことだけでなく他の人への心遣い・助け合い。

**Q4 おぢばの魅力や御教えの印象は？**

- H・・友達と天理教について語れる。
- K・・人の温もり。
- M・・とてもいいものだと感じた。
- S・・おぢばは、自分にとつてとても落ち着く場所です。人の助かりを願うというのが素敵だと思います。

**Q5 一番印象に残っていることは？**

- U・・おぢばつゆー場所がなんか落ち着く。すごい好きな場所。
- A・・すっかり勉強できた。
- T・・すぐ友達になれる。
- F・・おぢばの魅力は御引き寄せが出来ること。教えの印象は学修で楽しく学べる事。
- N・・おやさまは、優しい方だなぁと思った。
- O・・いろんな場所から集まってきた人との出会いで、いろんな考え方を知ることが出来ること。
- I・・おつとめの深さ。
- H・・十三峠。
- K・・退寮式で寮長先生たちが「糸」を歌ってくれたこと。
- S・・最終日の退寮式でみんなと別れる時です笑。
- U・・これといった行事ではなく過ごした1週間が一番思い出。
- A・・班の人とのふれ合い。
- T・・十二下りてをどり。
- F・・仲間との事。
- N・・友達とカウンセラーの人との出逢い。

**Q6 これだけは言いたい！**

- O・・ずっと胃痙攣で、あまり一緒に活動出来なかった友達のためにみんなで毎日お願いをして、最後に少しだけ一緒に活動出来たこと。
- I・・十三峠！
- H・・十三峠がキツイけど、終わったあとの充実感がすごい。
- K・・最初は帰りたいけど行って損はない!!。
- M・・おぢば最高!!。
- S・・来年も行きたいです!!。
- U・・絶対行くべき。
- A・・楽しいよ！学習!。
- T・・最高の仲間に出会える。
- F・・来年も行かせて下さい。
- N・・楽しいから絶対行って下さいね!!。
- O・・学修は一週間という短い期間の中で、いろんな場所から集まった友達といろんな事を話したり、天理教の教えを勉強したりしてたくさんの方が学べるし、良い思い出ができる!。
- I・・絶対来年も行こう!!。

Q7 学修を通じてこれからどう通る？

H 何事にも、これは神様からの試練だと思って取り組む。

K 人助けの気持ちを持って通らせていただきたい。

M 積極的に行事ごとに参加したい！。

S 学生会の行事にもっと積極的に参加したいです。

U 感謝の気持ちを忘れずにする。

A もっとと神様のことをしりたい！。

T 理づくりをさせてもらおう。

F 天理の行事に関わって行きたい。

N 正直に協力して毎日を過ごす。

O 学修を通じて、誰かのために一生懸命お願いする気持ちや、助け合うことの大切さを学んだので、学校生活や普段の生活で、友達のためにお願いをしたり友達や家族と助け合って生活したいと思った。

I 道の教えを守り自分ができる範囲で実行する。皆と仲良く助け合い。

### カウンセラーを勤めて

弓ヶ濱分教会 森 川道 弘

今回、私は学生生徒修養会の三回生カウンセラーとして、参加させて頂きました。

学修の参加は、高校生の時に三年の一回生として、大学生の時に四年の一回生として参加しただけでした。

初めてカウンセラーとしてお役目を頂き当初、私にとまるのだろうか、学生達に何を伝えられるのだろうか。不安でいっぱいでした。

みなさんご存知かもしれませんが、三回生は高校三年間学修に参加する学生達です。部活があったり、友達と遊びに行ったり、したい事もある中で、貴重な一週間を、学修で過ごすという選択で来た子達ばかりです。

言わば選ばれし学生達。神名流し、十二下りてをどりなど、一、二回生よりさらに信仰に向き合う内容になっています。

そして三回生は一、二回生と違い、朝づとめから日中のプログラム、夜のお別れまで男女はほぼ一緒に過ごします。カウンセラーも一緒です。大体の班が男四人、女六人の十人で形成され、

四六時中一緒にいる中で、お互いの絆、信仰、友情を深めます。

当初不安はありましたが、学生の為に、背伸びはせずに自分の出来る事を、本部の御用として精一杯つとめさせて頂こうと思ひ直しました。

初日は学生達ともまだ打ち解けられず、プログラムも淡々と進めてしまいましたが、相手のベテラン女子カウンセラーさんのフォローもあり、何とか乗り切りました。

二日目からは徐々に学生達とも距離が縮まり、ゲームをしたり、話し合ったりしてお互いに知り合っていく事が出来ました。

真剣に色々な話をし、時に涙する事もありました。

学生達を見ていると、良きも悪きも不思議と自分に似ているなあと感じ、その子らとのいんねんを感じました。

五日目には班の中であるふしを見せて頂き、班の学生達と夜遅くまで話し合い、結果的に班がまとまる事が出来ました。

学修が始まる前にスタッフに向けて真柱様は、「何か一つでも学生達がお道の事を学んで帰って欲しい」とおっしゃいました。その思いを持って臨ま

せて頂いた今回でしたが、果たして学生達に何が伝えられたのか、それは学生達がそれぞれに知る事なので分かりませんが、最後のお別れの時の学生達の顔を見るととてもいい顔をしていましたので、それが何よりもありがたく、嬉しく、安堵しました。

三年千日の仕上げの年にこのような貴重な経験をさせて頂き、自分自身勉強にもなりましたし、いい刺激を与えて頂きました。

本当にありがとうございました。

### 海外部米国巡回報告

今年に入り、海外部で台湾、静岡にあるブラジルの布教所(稲倉、タンザニア)そしてこの度最後に米国へ巡回に行かせて頂いた。勿論目的は笠岡に繋がる海外の人達に130年祭への帰参への呼びかけと、大教会長様からの年祭への思いが書かれた手紙を渡しに行かせて頂くことであつた。一見海外に在住する人たちは遠く離れていて独立しているように思えるが、本部や教会の時間的思いがなかなか届きにくいところであり、自分から求めて生活をしないと、



ニューヨークの布教所長夫妻・市川さんと

信仰から離れやすい環境にあるように感じる。  
 4年ぶりの米国訪問でお会いする用木信者の人達に少しでもおちばや大教会の風を感じて頂けるよう苦心した。最初上原順子部員とニューヨークの布教所を訪れ布教所長夫妻と再会を喜び、時間を掛けて信仰談議を重ねた。毎日のおつとめ、おさづけのお取次や十二下りのてをどり等を共にさせて頂いた。近隣に在住する用木や別席運び中の人達を回り、おさづけの取次などを通して、年祭のお話をさせて頂いた。また隣に位置するコネチカット州の用木家庭も訪れ共におつとめをつ

続いてインディアナ州のブルームントン市に訪れ講社を祭っていた上原豊明氏やその妻の出直しに際し、神実様の移行について相談させて頂いた。幸いにも夫妻に精通する人が、お世話をしたいと申し出たことにより、お道の説明、参拝の仕方、おつとめの練習を



アリゾナ州のモトオ・ウエハラ家族と

とめ、おさづけをさせて頂いた。おたすけお願いかードの英語版を手渡しして、願う人達のカードもお預かりした。日程の合わない人達や遠く離れた州に住んでおられる家族には電話でお話しし、手紙などを郵送してコンタクトを取った。

## 広島県PTA連合会会長に就任

— 甲井分教会長 —

山田睦浩甲井分教会会長は、去る6月4日開催された平成27年度広島県PTA連合会総会において同連合会会長に就任した。



就任に際し山田会長は「本年度は『子どもがいる今しかできないPTA活動に真摯に取り組もう』をスローガンに、未来ある子どもたちに『夢と希望』を与えるPTA活動にしたい。しかし、子どもたちを取り巻く社会は大きく変化し、たとえば携帯電話、スマートフォンなどを自由に操る時代となり、それに伴い子どもたちの安全を脅かす事案も増えている。こうした問題に保護者が真剣に取り組み、子どもたちが安心して使用できる環境を整備する必要がある。そして子どもたちは学校でいろんなことを学び、身に付け、日々成長している。それに対して私たち保護者も積極的にPTA活動や地域活動に参加し、それを通して共に学び成長していきたい」と抱負を話した。

して日本への訪問を約束して家を後にした。



コネチカット州のトデーロ夫妻と

最後に訪問したアリゾナ州フィネックス市は佐藤真孝部員が合流してニューヨークの布教所の長男家族と再会した。妻のエルビア夫人の両親(いずれも初席)の家も訪問し、親交を深めた。毎日のおつとめやおさづけなどを通してお道の話をした。

今回訪問したそれぞれの家族への繋がりがや次の世代への後継・拠点などの問題も、今後笠岡の海外に繋がる道が切れ目なく続く為に、これからも相談を重ねていきたい。

(海外部長 上原志郎)

# 勇壮な舞と雅やかな楽の音

## — 歴史民俗博物館で舞楽公演 —

雅鶯会

雅鶯会(中島誠治楽長)は10月4日、福山市しんいち歴史民俗博物館(大目典正館長)で雅楽・舞楽演奏を行った。

開設30周年を迎えた同館では、9月5日から11月29日まで企画展として「言祝 — ことぶき —」をテーマに地元の人々が生活の中で受け継いできた節目の祝い道具などを展示しているが、関連行事として“祝”にふさわしい日本伝統文化の雅楽を紹介したいということで依頼された。

同館の多目的ホール特設会場で、まず管弦・正調『越殿楽』を演奏。引き続き雅楽の説明、楽器紹介がされた。

最後に、舞楽『蘭陵王』の勇壮な舞が披露されると、ひととき大きな拍手が約150人の聴衆から送られた。

「福山市広報」で公演を知った福山市内から訪れた男性は「雅楽・舞楽はテレビの中でしか見たことがなく、目の前で本物を聞くのは初めて。綺麗な雅楽の音と舞に感動した」と話していた。また地元ミニコミ誌も取材。

舞人の森川道弘さんは公演後、多くの人たちから写真撮影、質問を受けていた。



勇壮な舞『蘭陵王』に聴衆も感動



雅やかな楽の音『越殿楽』



舞人・森川道弘さん

当日の出演者は次の通り(敬称略・順不同)

司会 佐藤和代。

管弦 <b>越殿楽</b>				舞楽 <b>蘭陵王</b>			
笙	武内清明	藤井正仁	仙田公男	笙	武内清明	藤井正仁	仙田公男
箏	余村 元	仙田 勉		箏	仙田 勉	藤井保人	余村 元
龍笛	田中隆之	中島誠治	山野弘実	龍笛	森本忠善		
太鼓	猪原啓介			太鼓	田中隆之	中島誠治	山野弘実
鉦鼓	藤井保人			鉦鼓	虫明立生		
箏	虫明立生			鞆鼓	猪原啓介		
琵琶	森本忠善			舞人	森本重吉		
鞆鼓	森本重吉				森川道弘		

# 教会おとまり会の報告

## ▼大恵山隊

実施日 27年7月12日  
参加者数 少年会員2 育成会員5  
合計7

内容 タづとめ、神様のお話し  
他

感想 こどもおちばがえり前に  
参拝してゲームをして、楽しく過  
しました。今年もこどもおちばがえ  
りに参加してくれました。

## ▼引野隊

実施日 27年7月25日  
参加者数 少年会員5 育成会員8  
合計13

内容 朝づとめ、神様のおはな  
し 他

感想 少年会員の成長が楽し  
みですので、内容については年令に合  
わせて少しずつおこなってゆきたい  
と考えております。これからが楽し  
みな少年会員です。

## ▼福輝隊

実施日 27年7月28日～29日  
参加者数 少年会員45 育成会員5  
合計50

内容 朝づとめ、夕づとめ、ひ  
のきしん、神様のおはなし、教祖の  
おはなし 他

感想 今回子ども達からの声に  
より、開催したお泊まり会、プログ  
ラムを子ども達が考え進行もしてく  
れ、育成会員はサポートにまわりま  
した。思っていた以上にたくさん  
子ども達が集まってくれてとても充  
実した2日間でした。また参加した  
いという声もたくさんあり、子ども  
達にとっても忘れられないお泊まり  
会になったと思います。

## ▼高丸隊

実施日 27年7月30日～31日  
参加者数 少年会員9 育成会員2  
合計11

内容 朝づとめ、夕づとめ、花  
火 他

感想 こどもおちばがえりから  
帰会して、一泊してくれました。何  
もできませんでしたが、泊まってく  
れた子供たち世話してくれた人に感  
謝です。

## ▼高屋隊

実施日 27年8月6日～7日  
参加者数 少年会員13 育成会員10  
合計23

内容 朝づとめ、夕づとめ、神  
様のお話し、屋外バーベキュー、川  
遊び 他

感想 子供は基本的に自由にさ  
せています。

## ▼吸江隊

実施日 27年8月6日～7日  
参加者数 少年会員15 育成会員12  
合計27

内容 朝づとめ、夕づとめ、ひ  
のきしん、神様のお話し、花火、水  
泳 他

感想 教会お泊まり会開催に当  
たり、多くの方の御協力、誠に有り  
難うございました。今回はおたすけ  
お願いカードの趣旨を説明すると、  
小さな子までが記入され、そして  
困った人の助かりを願って真剣にお  
つとめをされた姿が、印象に残って  
おります。

## ▼廣町隊・福廣隊合同

実施日 27年8月7日～8日  
参加者数 少年会員5 育成会員4  
合計9

内容 朝づとめ、夕づとめ、ひ  
のきしん、神様のおはなし、他

感想 こどもおちばがえりがす  
んで、すぐのお泊まり会でしたが、  
何をしてもし楽しいと子供達の笑顔  
いっぱいので行事で育成会員も笑顔と  
元気を頂きました。ソーマン流しや  
プールも楽しかったそうです。

## ▼香地華隊

実施日 27年8月12日  
参加者数 少年会員3 育成会員2  
合計5

内容 ゲーム 他

感想 少年会員3人楽しそうに  
遊んでいました。

## ▼府中市隊

実施日 27年8月12日～13日  
参加者数 少年会員2 育成会員5  
合計7

内容 朝づとめ、夕づとめ、ゲ  
ーム、折り紙などの工作、地区の祭に  
参加 他

感想 子供がもう少し多ければ、色々考えられるかなと思いましたが。

▼福東隊

実施日 27年8月12日～13日  
参加者数 少年会員15 育成会員7  
合計22

内容 朝づとめ、夕づとめ、ひのきしん、神様のおはなし、うた他

感想 こどもおちばがえり後の丹精の一環として、取り組ませて頂きました。

▼芦加茂隊

実施日 27年8月13日～14日  
参加者数 少年会員2 育成会員3  
合計5

内容 朝づとめ、夕づとめ、ひのきしん、神様のお話し、地区の夏祭り参加 他

感想 孫がおとまりしてくれました。親がそろつてとまってくれてうれしかったです。

▼眞府隊

実施日 27年8月13日～14日

参加者数 少年会員7 育成会員10  
合計17

内容 朝づとめ、夕づとめ、ゲーム、花火 他

感想 身内のみの開催です。

▼坪生隊

実施日 27年8月14日～15日  
参加者数 少年会員6 育成会員5  
合計11

内容 朝づとめ、夕づとめ、ひのきしん、神様のお話し 他

感想 ナイタープールへ行かせて頂きました。少し寒いようでしたが最後まで楽しんでいました。夜、高校生が泊まりに来てくれてお世話してくれました。

▼芦常隊

実施日 27年8月23日～24日  
参加者数 少年会員20 育成会員15  
合計35

内容 朝づとめ、夕づとめ、神様のお話し、プール 他

感想 子ども会行事の後に行うことで親も参加しました。これからも機会があれば少年会行事として行いたいと思います。少しでも神様の

お話しを伝えさせて頂きたいと思えます。

▼東城隊

実施日 27年9月5日～6日  
参加者数 少年会員5 育成会員4  
合計9

内容 夕づとめ、ひのきしん、

感想 神様のおはなし、折り紙などの工作でした。子供達はとても楽しそうでした。子供達はとも楽しそうでした。大きな折り紙でヒコーキを作ったり、サイコロを作ったりしてお騒ぎでした。今度はこどもおちばがえりに参加してくれた子供達も参加してもらって泊まり会をさせて頂こうと思つていきます。

▼福富士隊

実施日 27年9月5日～6日  
参加者数 少年会員10 育成会員4  
合計14

内容 朝づとめ、夕づとめ、神様のおはなし 他

感想 来年のこどもおちばがえりにむけて、なるべくお泊まり会を毎月開催させて頂きたいと思つていきます。

こころの詩

笠岡の教友が選ばれ掲載されていますので転載いたします。(敬称略)

▼『天理時報』

▽9月27日付「時報歌壇」

・海松ヶ岡◎ 池田広子さん

降り出した雨をくぐりて町内の配り物する残暑の中を

芦品◎ 金谷眞佐代さん

「元一日を忘れないで」

久しぶりに里帰りした娘は諭す

・海松ヶ岡◎ 藤井光子さん

水玉の雨天兼用の傘買って

クルリと回せば幼おきなに戻る

▽10月4日付「時報俳壇」

・芦品◎ 金谷眞佐代さん

心地良し稲穂ながめて吟ずるは

・海松ヶ岡◎ 池田広子さん

水やりの水潜りくぐりゆく蜻蛉とんぼかな

・備中◎ 塩飽利子さん

俳諧の今が青春豊の秋

▽佳 詠

▼『陽気』誌10月号「道柳」より転載。

・東悠◎ 田林美智子さん

練習に練習かさねて胡弓の音

▼表紙写真

(西村彦一 かさおか編集部員)

立教百七十八年 九月月次祭 祭典役割表

胡弓	三味線	琴	小鼓	すりがね	太鼓	拍子木	ちゃんぽん	笛	てをどり			おつとめ			地方			役割 区分	講話	扨者		祭主	
									門脇郁子	田中ますみ	大教会奥様	吉岡壽	上原繁道	大教会長様	上原浩	中島誠治	中村剛			坐り勤	井筒梅夫先生		上原志郎
森本富美子	谷内美知子	佐藤香苗	上原浩	横山逸郎	高木昭祥	山田敏教	赤木素志	森本忠善	門脇加津	内海安子	武内正美	今川昌彦	岡崎真一	中村邦義	武内清明	笹尾正治	佐藤道孝	十一月講話	指図方	賛者	山野弘実		
横山小智榮	中村初美	三島照美	佐藤真孝	田林久嗣	虫明立生	浅野明教	渡邊隆夫	上原繁次	室悦子	高木孝子	岡崎豊子	上原志郎	杉原博之	中村剛	内海史郎	中村道徳	吉岡壽	海外伝道講習会	指図方	賛者	上原繁道		

立教百七十八年 秋季霊祭 祭典役割表

胡弓	三味線	琴	小鼓	すりがね	太鼓	拍子木	ちゃんぽん	笛	てをどり			おつとめ			地方			役割 区分	講話	扨者		祭主	
									上原順子	田中ますみ	大教会奥様	中村邦義	上原繁道	大教会長様	浅野明教	岡崎真一	中村剛			前半	中村道徳		岡崎真一
吉岡八恵	小川洋子	室悦子	上原繁次	森川弘志	岡崎治喜	横山逸郎	北村保	鳥井利昭	岡崎和美	門脇加津	武内正美	藤井正仁	枝廣隆文	三代温生	佐藤真孝	佐藤哲	福島泰道		指図方	賛者	上原浩		
																					浅野明教	吉岡壽	

## 九月月次祭祭文

これの笠岡大教会の神床にお鎮まり下さいます  
親神天理王命の御前に 会長上原理一慎んで申し上げます

親神様には一列子供陽気ぐらしを楽しみに銘々の心一つの理に身体をお貸し下さると共に 天然自然のお働きを通して身体を御守護下さっております事は誠に有難く勿体ない極みと喜び感謝の心一杯でございます 只最近  
は身上・事情が複雑化し自然災害が大型化している現状を見ますと「にちく」にみにさわりつくどくしんせ 心ちがい  
を神がしらする」とお教え頂く上から 日頃の心遣いを思案し反省すると共に親心にお応えすべく日々は朝夕に御礼を  
申し上げつつ「世界一列を救いたい」との親心を我が心に写してにをいがけおたすけを通してたすけ一条の御用の上  
に努め励まして頂いております

その中にも今日の吉日はお許し戴いた月に一度の御祭日でございますので おつとめ奉仕人一同 喜び感謝の心も一  
入に明るく陽気に勇んで坐りづとめてをどりをつとめて九月の月次祭を執り行わせて頂きます 御前には 真夏の暑さ  
から解放され喜び一杯の道の子供達が今日の日を楽しみに寄り集い 日頃の御高恩に改めて御礼申し上げ八万四千六百  
七十六枚のおたすけお願いカードと共に夫々のたすけ心を添えて尚一層のたすけを願ひ 相共にお歌を唱和する皆の真  
実の状を御覧下さいまして 親神様にもお勇み下さいますようお願い申し上げます

さて犯罪はより凶悪化し安全保障関連法案が参議院で可決される等 社会は一層混迷を深めて「先の見えない不安を  
抱える人々」が増えております そんな中だからこそ一人でも多くの人に親心の真実を伝えたいものとにをいがけ強  
調の月に相応しいものにすべく 今月はいつも以上ににをいがけおたすけに励ませて頂いております 月末は全教一斉  
にをいがけデーでございますので 全教一丸の動きになるようお互いに声掛け合つてにをいがけに邁進させて頂く所存  
でございます 又来月二十五日は別席ひのきしん団参を実施させて頂きます すでに年頭よりそれに向かつて動いてお  
りますより確かな笠岡一手一つの動きにすべく 本日は祭典に引き続き教会長・布教所長躍進の集いをさせて頂きま  
す 真明講の元である芦津大教会の会長様 井筒梅夫先生のお話を拝聴させて頂き思いをしっかりと受け止めて 一人でも  
多くの人をおおだに連れ帰つて教祖にお喜び頂くとうと心を一つに揃えてにをいがけに邁進させて頂く所存ございま  
す 更には又 来月は大祭月でございますので直轄教会に参拝させて頂き いよいよ近づいて参りました教祖百三十年祭  
への成人の歩みに拍車をかけ 本年の心定め完遂とおつとめ奉仕人増員を目指させて頂く所存でございます

何卒親神様には 社会の荒波にもまれながらも決して流されず 親孝心一筋にたすけ一条に励む皆の誠真実の心をお  
受け取り下さいまして 万たすけの上に尚も自由の御守護を賜り 親を慕いおぼへくと帰り来る人が弥増して 賑やか  
な年祭の姿を御守護頂きますようお導きの程を 一同と共に慎んでお願い申し上げます

### 第896期修養科募集要項

**\*修養科期間**

立教178年12月1日～立教179年2月27日

**\*教 養 掛**

3ヶ月間	横山逸郎	(大教会准役員・東城分教会長)
1ヶ月目	津森朋之	(簸ノ川分教会長)
2ヶ月目	余村健	(多古浦分教会長)
3ヶ月目	三嶋正教	(笠尋分教会長)

**\*募集要項**

- ・志願者は、12月末日現在で満17歳以上で、必要書類を携え、上級教会を経由して大教会に順序参拝すること。
- ・11月25日までに笠岡詰所に入所し、教養掛の面接を受けること。
- ・3ヶ月の修養期間を修了後は、大教会での修養科修了講習会を受講し、2月29日午前10時に解散。

## 秋季霊祭祭文

これの笠岡大教会の祖霊殿にお鎮まり下さいます 本席様の神霊 初代真柱様並びに奥様の神霊 二代真柱様の神霊 大教会創設の祖上原佐吉大人八重刀自の神霊 初代会長上原さと刀自の神霊 二代会長上原伊助大人光刀自の神霊 三代会長上原繁雄大人くに多刀自の神霊 四代会長上原郁雄大人朝子刀自せい子刀自の神霊 歴代会長と共に笠岡の道の礎となられた役員 部内教会長 教人 よふぼく信者の神霊 諸々の神霊の前に 会長上原理一 慎んで申し上げます

祖霊様方には 親神様教祖のお見定めにより 身上や事情に記を見せられてこの道にお引き寄せ頂かれました それ以来かしまのかりものの御教えを心にどんな艱難苦勞の中もいんねん自覚の元 御恩報じ一筋に息の限りにたすけ一条の御用の上にとめ切れ理作り徳積みをして下さいました お陰をもちまして 後に続く私共は今日結構に通らせて頂いておりますが 私共も後に続く者に少しでも徳積みをしたいものと先輩先生方の思いを受け継ぎ 日々はたすけ一条の御用の上に努め励ませて頂いております

分けても本日は秋の霊祭を執り行う定めの日柄でございますので 御前に海川山野の句の物を供えて 只今はおつとめ奉仕人並びに部内教会長代表の者 親神様の御前にてをどりをつとめさせて頂きました 続いて御前に馳せ参じて有りし日の面影を偲び御遺徳を称える皆の真実の状を御覧下さいまして 御心をお安め下さいますようお願い申し上げます

さて教祖百三十年祭まであと四ヶ月となりました 仕上げの年の仕上げとすべく 来月二十五日に芦津真明組として六つの大教会が一丸となって別席ひのきしん団参をさせて頂きますので 二千名の帰参目標を掲げ加えて心定めの完遂をも目指して にをいがけおたすけにより一層拍車をかけ邁進させて頂く所存でございます 又実動できる道の後継者育成を目指して十一月二十三日には若人の集いを開催させて頂き 次なるステップ教祖百四十年祭へ向けての動きに繋げて行く所存でございます

何卒祖霊様方には 親の思いを受け継ぎつつ次の世代へ引き継いで行く皆の真実の心をお受け取り下さり 御心安らかに御見守り下さいまして 別席ひのきしん団参や教祖百三十年祭に一人でも多くの帰参者が御守護頂けますようお願いの程を一同と共に慎んでお願い申し上げます



### 大教会だより

◎教人資格講習会修了者

立教178年10月11日終講  
上小島 奥家 康次

◎本部食堂ひのきしん

自 立教178年10月1日  
至 立教178年10月7日  
自 立教178年10月8日  
至 立教178年10月15日  
高丸 谷本 圭子  
稲倉 中下 和美



昭和51年 (1976年) 立教139年	
<p>1・9 大教会年頭会議開催での大教会長様のお話(要旨)</p> <p>1、教会内容の充実という目標を掲げ、大いなる親心をおかけ頂いた三年千日であるが、果たしてその親心にお応えできる姿に各教会が成人できたであろうか。</p> <p>2、教祖九十年祭は百年祭の土台であるということ、はつきりと心に治めて活動してきたかどうか。</p> <p>3、各教会の今日の姿に伏せ込まれた初代の荒道を、私たちは誠実に今の道の上に生かし切っているかどうか。</p> <p>第一の点については部内教会全部のことを考えると理想の姿には、まだ程遠いものがある。各教会のなお一層の邁進を促したい。</p> <p>第二点については、教祖九十年祭に居合わせて頂くお互いは、その喜びをもっと深く味わい、成人の塚とさせて頂きたい。教祖九十年祭は百年祭という建物の土台であるから、もし教祖九十年祭に思召に添えなかつたら百年祭にも添いきることができないのではないかと</p> <p>第三点については、初代はこの教会も食べるに物なき道のすがらを歩み、その難儀な中を「教祖ひながたを思えば、こんな苦労が何であるか」と苦労を楽しんで通られた。そういう初代の思いを私たちは今の教会の結構な姿の中に忘れ去ってはいないだろうか。たすけ一条の有り難い道を通して頂いているお互いは、初代が丹精してくれた教会の役員、よふぼく信者を一</p>	<p>十二人 教人登録百七十五人 教人総数二千二百六十一人 よふぼく総数九千七百三十二人。全教よふぼく総数七十二万二千八百八十五人。</p>

昭和50年 (1975年) 立教138年	
<p>新所在地：岡山県笠岡市笠岡七百九十四番地二</p> <p>鎮座祭：十二月六日</p> <p>奉告祭：十二月七日</p> <p>10・26 三代会長上原繁雄 著書「おふでさき御話」出版</p> <p>11・20 大教会承事・吸江分教会三代会長赤木利行出直(六一歳)</p> <p>11・26 錦洋分教会神殿及附属建物増築</p> <p>11・26 陽實分教会四代会長藤川テルヨ任命(三代会長佐藤正一 昭和五十年九月十二日出直)</p> <p>11・26 就任奉告祭：十二月十一日</p> <p>11・26 香地華分教会二代会長瀬良トシ任命(初代会長渡邊 勇 昭和五十年六月二十六日出直)</p> <p>11・26 就任奉告祭：十二月八日</p> <p>11・26 三郡分教会三代会長貞清 実任命(二代会長貞清鹿雄辞任)</p> <p>11・26 就任奉告祭：十二月七日</p> <p>12・26 福輝分教会三代会長宮崎可夫任命(二代会長宮崎ハツノ辞任)</p> <p>就任奉告祭：昭和五十一年三月七日</p> <p>教祖九十年祭前年の年、五月二十四日にはかんろだいですえかえ之儀が行われた。またおやさとやかたは南左第一棟(六月二十九日)、北左第四棟(九月二十九日)、西左第三棟(十月十六日)がそれぞれ竣工した。海外事情では二月九日インドで布教公認、西ドイツのワルブルグで天理教展覧会が開催され、十一月九日シンガポール出張所の神殿が落成した。</p> <p>この年の大教会年間統計 初席者八百三十七人 おさげの理拝戴者五百九十三人 修養科修了者二百四</p>	